

NPO法人LomiLomiどっとこむ ソーシャル・コミュニケーション・カレッジSCC松本校（所在地：長野県松本市）

事業名 当事者の卒業後の学びの創造（地域が人を育て人が地域を育てる実践研究事業）

事業の趣旨・目的

本事業は、特別支援学校卒業後の移行期において、障害のある青年が学びを継続しながら社会との関係を築き直していくことを目的とした実践研究である。
学校卒業と同時に学習機会が失われやすい現状を踏まえ、**「学校を出たあとも、学びながら大人になることをあきらめない」**という考え方のもと、学校と社会のあいだをつなぐ中間的な学びの場を構築した。
また、公民館等の社会教育施設を活用し、地域住民と共に学ぶ相互学習を通じて、共生社会の形成を目指した。

事業実施体制・連携先

メンバー構成：松本市議会議員・長野県教育委員会・松本市教育委員会・松本市社会福祉協議会・松本大学・NPO法人LomiLomiどっとこむ・当事者家族・専門学校未来カレッジ

主な対象

精神/知的/発達/肢体

活動分野

学習/普及啓発

事業の取組内容

本事業では、特別支援学校卒業後の移行期にある障害のある青年を対象に、学校卒業後も学びを継続しながら地域や社会とつながり続けることができる仕組みの構築を目的として取り組んだ。

- ・SCC松本校を学びの拠点とし、カルチャースキル・ソーシャルスキル・ライフスキルの三領域からなる生涯学習プログラムを体系的に実施した。
- ・公民館等の社会教育施設、地域資源、外部講師、ボランティアと連携し、共同学習や校外学習、地域交流を通じた実践的な学びを展開した。
- ・当事者本人の特性や成熟段階に応じた学習内容を設計し、学習意欲の向上、生活リズムの安定、対人関係の広がりを促した。
- ・学校、福祉、行政、地域関係者との連携により、移行期に生じやすい学びや社会参加の断絶を防ぐ支援体制を構築した。

これらの取り組みにより、当事者が「学校を出たあとも、学びながら大人になる」ことを実感できる場として機能するとともに、地域全体で人を育てる移行期の学びのモデルを提示する成果を得た。

なお、これらの成果は、事業2(学習プログラムの開発・実施)単体によるものではなく、事業1における当事者家族・学校・関係機関との伴走的な関係構築、ならびに事業3における地域住民との相互交流を通じた学びの環境づくりが相互に作用した結果として得られたものである。

本事業は、複数の事業を有機的に連動させることで、移行期における学びと社会参加を支える実践モデルを形成した点に特徴がある。

さらに、本事業の成果を一過性のものとせず、継続的な実践へとつなげるため、助成金申請や関係機関との調整を行い、事業の自走化に向けた取り組みを進めた。これにより、委託期間終了後も学びの場を継続するための基盤づくりが進展している。

活動の様子



その他



ホームページ



Instagram



地図